

クリスマス・カード、全員参加劇など——札幌琴似教会の例

札幌琴似教会日曜学校教師 なかざわ はるえ 中澤 陽恵

札幌琴似教会は幼稚園を併設しており、1階が幼稚園で2階が教会になっています。だからといって日曜学校に子供達が大量来てくれるという訳ではありませんが、卒園児を中心に毎週20名程の子供達が集まっています。

アドベントに入ると教会玄関には天井まで届く大きなクリスマスツリーとリースが飾られます。清々しい木の香りと手作りオーナメントのぬくもりが気持ちを一気にクリスマスへと向かわせてくれます。クラッツに火を灯すと更に気持ちが引き締まります。以前はアドベントカレンダーを作ったりしていましたが、1日で仕上げるのはかなり厳しく、毎週同じ子が来るとは限らない今の状況では難しくなりました。

しかし、クリスマスだけは特別です。いつもより沢山の子供達と保護者の方が一緒にクリスマスをお祝いに来てくれるのです。お誘いのカードを多めに準備しておき、アドベントを迎えると「イエスさまがお生まれになる喜びをみんなに伝えよう」と子供たちに渡します。すると普段教会には来ていない子供も友達に誘われてやって来るので、礼拝に慣れていなくても参加しやすい工夫が必要です。幼稚園時代から慣れ親しんだクリスマスの讃美歌を歌ったり、使用する讃美歌や聖書の箇所をまとめた「クリスマスのしおり」を用意するなどして初めての子供でもスムーズに礼拝を守れるようにしています。

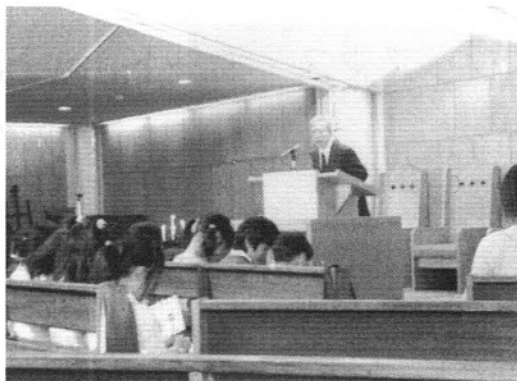
礼拝は2階の礼拝堂で守りますが、その後に行う祝会は1階の幼稚園ホールに移動します。料理自慢の教師による手作りのおやつは毎年好評です。ある程度目の前のおやつを頂いてからでない次のプログラムに入ることはとても出来ません。おやつ後は、簡単なゲームやクイズで少し楽しみ、メインプログラムはクリスマスにちなんだ出し物です。出し物と言っても前述のように普段から日曜学校に来ている子供だけではないので、教師が中心となって降誕物語やクリスマスにちなんだお話を取り上げてストーリーを展開していきます。一昨年は手作りで降誕物語のパネルシアターを用意し、部分的に子供達に台詞や聖句や讃美歌で参加してもらいました。昨年は効果音で参加してもらい「天使のお使い」という全員参加の劇をしました。

祝会の最後に校長先生扮するサンタクロースがプレゼントを持って登場します。教会で用意したプレゼントの他にも、説教奉仕をしている教師のお母さんからご厚意で毎年フェルトで作ったオーナメントが贈られています。何年も通っている子供達の中には、全部カバンにつけて「こんなに集まったよ」と嬉しそうにしている姿も見られます。

さて、当教会の日曜学校では特に全国の皆さんの参考になるような事は何も行っていませんが、強いてあげるとすれば、クリスマスカードです。アドベントに入るとその年の担当教師がアイデアを出し、子供も参加してクリスマスカードを作り、北海道中会の教会と伝道所に送るのです。これは中会日曜学校修養会で聖園教会の方が話された言葉がきっかけでした。「わたしたちの教会には今ひとつの家族の子供が熱心に日曜学校に通ってくれています。他に通ってくる子供はいません。この家族は転勤族です。だからもしこの子供達がいつか洗礼を受ける日が来るとしても、それはおそらくわたし達の教会ではない、どこか他の教会でしょう。でもいつかその日が来てほしいと祈りながら日曜学校を続けています」。この言葉にとっても感動し、日曜学校教師としての姿勢を正されただけでなく、中会の繋がりの大切さに改めて目を向けることが出来ました。それ以来のクリスマスカードです。他の教会や伝道所からも日曜学校の子供達の写真入りクリスマスカードが贈られてきたりします。子供達も「他の教会の日曜学校のお友達!」と会ったこともない「友だち」の写真やカードを嬉しそうに眺めています。いつの日かこの子供達が主の御前に信仰を告白する群れとして集められ、共に礼拝出来る日が現実となることを祈っています。



アドベントクランツに火を灯すと
気持ちが高まります



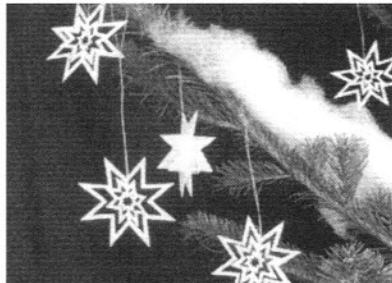
クリスマス礼拝の風景



みんなで楽しむ祝会



祝会の最後は大盛り上がり！



○昨年のカードは中を開くと子供達からのメッセージと顔写真で構成。飛び出すカードにした年もあります。

○クリスマスツリーのオーナメントは手作りです。



○パネルシアター（左）はストーリーに合わせて絵を貼っていきます。人物の首や手足は一箇所を糸で留めてあるだけなので動かすことができます。星も中央だけを糸留めたので動かすとキラキラ瞬かせることができます。

全員参加劇 「天使のお使い」

(昨年为例です。ナレーションは実際よりも短くまとめました。)

ナレーター ある日天の国では・・さあ今日皆さんは、お使いを頼まれた天使さんです。
これからうれしいお知らせをみんなに届けましょう。
第1の天使さんは、マリヤのところへ行って、おうちのドアをたたきます。
どうぞ！

第1グループ トントントン (座っているテーブルをたたいて音を出す)

ナレーター 恵まれた女よおめでとう！

= マリヤは受胎告知を受けます。 =

ナレーター 第2の天使さんは、寝ているヨセフさんのところへ行きました。

第2グループ どんどんどん (屋根の上から聞こえてくるように足で床を鳴らす)

= ヨセフはマリヤをお嫁さんにします。 =

ナレーター 第3の天使さんは、羊飼いのところへ行って明るく照らします。

第3グループ ピカー！！ (手を伸ばしてキラキラさせながら叫ぶ)

= ま、まぶしー！と言いながら羊飼いは平伏します。

そこへ天の軍勢がやってきました。 =

第4グループ 「いと高きところでは栄光神にあれ！地の上には平和があるように」
(あらかじめセリフを渡しておく)

= 羊飼いたちはベツレヘムに向かいます。 =

ナレーター さあ、第5の天使さんが向かったのはどこでしょう？ (子供たちに言わせる)

正解！博士さんたちがまだでしたね！では、博士さんにはどうやってお知らせしましょうか？

(子供たちと一緒に動作を決める。※この日はラクダの鳴き声という案が採用されました。)では、第5の天使さんが現れました。どうぞ！

第5グループ #*# \$ (それぞれ不思議な音を出す)

= 博士たちは星に導かれてベツレヘムに向かい、ようやく馬小屋に
たどり着きイエスさまを拝みました。 =

♪ドレミファコップ演奏「もろびとこぞりて」♪

全員で 『クリスマスおめでとう』 おしまい

※グループや時間の関係で、エピソードを増やしたり、動作を大きくしたりできます。「ドレミファコップ」は、コップに水を入れ音程を1オクターブ作ったものです。「もろびとこぞりて」はちょうど1オクターブで演奏できます。